

新学部長に聞く ― 商学部長、ネットワーク情報学部長

任期満了に伴う法学部長、商学部長、ネットワーク情報学部長の改選が各学部教授会で行われ、商学部長に川村晃正教授が、ネットワーク情報学部長に齋藤雄志教授が新たに選任された。任期は本年9月1日から2年間。木幡文徳法学部長は再任された。

川村晃正商学部長

「計理専修」の伝統生かし 改革さらに

商学部は本年、商学教育100年、学部創設40周年を迎えました。大学そのものの存続が問われる「2007年全入」問題を直視し、「計理専修」の伝統に恥じない教育を進め、社会にアピールしていくためには、改革が何にも増して必要です。

これまで商学部では、99年に全学部に先駆け専門科目 Semester 制を導入し、商業学科3コース制を採用。本年度からは会計学科カリキュラムの全面改訂を実施しました。

来年度からは、商業学科をマーケティング学科と改称し、4コースを設け、一層広い視野からビジネスマインドを育む教育を行ってまいります。さらに大学院では、併せて5年で学部卒業と修士の学位が得られる「商学特修コース」が新設されます。また、会計専門職大学院の設置も検討しております。

ヒト、モノ、カネ、情報などの資源を、市場を介して効率的に配分し、社会を豊かにする。これが商学の課題です。実際には企業と企業、企業と個人、個人と個人との関係構築の中で探る、極めて実学的でありながら多様性に富み、専門性が問われる学問です。

インターネットや携帯電話の発達・普及で、人と人との本来の関係がきわめて希薄になった現代。混沌とした21世紀を生きる人間として、技術の発達を取り込み、他方でそんな状況を冷静に見つめ「これでいいのか」と常に社会に問いかける、そんな複眼的視点を持つことが重要になります。

学生諸君が豊かな教養と深い専門性を兼ね備えた「器の大きな人間」に育つことを願います。そのためには、今までのような一方通行的教育では、人は育ちません。学生一人ひとりを受け止めつつ、教育の中身を充実させる大学教育の在り方が問われていると、肝に銘じております。

略歴：

早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了。専修大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。1985年(昭60)商学部講師。87年(昭62)助教授。95年(平7)教授。数次にわたり商学部の改革委員会の委員を務め、教育システムの改善、カリキュラムの刷新に努める。専門は商業史、産業史、日本経済史。栃木県足利市出身。趣味は「風呂場で歌う」と。59歳。



齋藤雄志ネットワーク情報学部長

理系入試の導入で 創造的人材育てる

本学部の学生は、入学時から比較的はっきりした指向性を持っていますが、入学後は少人数教育に力点を置いていますので、教員と学生の距離が近く、学生も勉学熱心です。本学部は創設5年目を迎えましたが、優れた教育を展開出来ていると思っています。

入試方式もさまざまに工夫しています。本学部の独自の入試方式であるAO入試では、「意欲と潜在能力」を重点に合格者を決めています。その中から優れたリーダーシップ能力などを持つ学生が、数多く現れています。

本学部の看板授業である「プロジェクト」では、ゼミナールと違い、教員はアドバイザーに徹し、学生の自主



性を尊重しています。それが逆に学生のやる気を促し授業としては成功しています。社会人の仕事と比べると同じとはいきませんが学生の潜在能力を見直すことも多々あります。

2006年度(平18)入試から、数学を重視する一般入試F方式(理系)、センター試験利用入試5科目型(理系)を導入し、これから設置予定の「情報技術創造コース(仮称)」に対応させることにしています。

新方式で入学した学生は基本的にこのコースに入ることとなります(他の入試制度入学者も同コースへの選択は可能)。このコースでは、「新しい技術を開発し、問題を解決する」ことが出来る創造的人材を育てることを目的としています。

本学部は、カリキュラムなど、ソフトの面では非常に優れたものが展開出来ていますが、設備などのハードの面でも学生がより満足出来るようにしていくつもりです。

大学の価値には、勉学などに関わる実質的な在学価値と、潜在的価値であるブランド価値の二つがあります。学部長として、それらの価値を積極的に社会に発信していきたいと思っています。

略歴:

東京工業大学大学院理工学研究科電子工学専攻博士課程修了。工学博士。(財)電力中央研究所経済研究所を経て1985年(昭60)経営学部助教授、86年(昭61)教授。2001年(平13)所属変更。専門はシステム工学、エネルギー学。栃木県佐野市出身。63歳。

新司法試験プレテスト実施

2006年度から導入される新司法試験のプレテスト(模擬試験)が、8月6日から4日間、05年度法科大学院課程修了予定の院生を対象に、各法科大学院で実施された。写真は本学の神田7号館。



生涯学習のための提携講座

北上、鶴岡で開講

北上市生涯学習センターで8月4日開かれた北上市民大学で、新井勝
紘文学部教授が「故郷の村に届いた7000通の軍事郵便—兵士の手紙
を見る・読む・考える」をテーマに講演した。

多くの軍事郵便が家族や友人・知人宛に書かれていた中、岩手県和賀
郡藤根村(現・北上市)で長く教員を務めた高橋峯次郎宛の元教え子
からの約7000通の軍事郵便を村の文化サークルが読み解き、時代順
に分類していた。

新井教授は軍事郵便史の歴史資料としての価値、今後の研究課題、
保管と保存、公開についての問題点などを論じた(聴講者55人)。



多くの聴講者を集めた北上市民大学
(壇上は講演する新井教授)

秋の公開講座

神田キャンパス

■大学院公開講座

10/6～12/1(11/3を除く毎週木曜日)。18時から731号教室。定員150人。

講座1「人はなぜ働くのか」※終了しました

- ◆10/6「多様な働き方の落とし穴」宮本光晴経済学研究科教授
- ◆10/13「働くことの哲学」貫成人文学研究科教授
- ◆10/20「江戸時代の働き方」青木美智男文学研究科教授
- ◆10/27「新しい時代のキャリア」池本正純経営学研究科教授

講座2「日本経済の再生と金融」※終了しました

- ◆11/10「人的資本を含めた個人資産運用の最適戦略」山口勝業経済学研究科客員教授(イボットソン・アソシエイツ・ジャパン代表取締役)
- ◆11/17「企業のリスク・ヘッジ戦略を再考する」福島良治経済学研究科客員教授(みずほ第一フィナンシャルテクノロジー金融工学第二部長)
- ◆11/24「資産を活用した企業再生」三國仁司経済学研究科客員教授(日本格付研究所ストラクチャードファイナンスアドバイザー)
- ◆12/1「少子高齢化時代を迎えた日本の年金のこれから」臼杵政治経済学研究科客員教授(ニッセイ基礎研究所金融研究部門上席主任研究員)

申し込み・問い合わせ先

大学院事務課03-3265-6568 FAX03-3265-6375、E-mail graduate@acc.senshu-u.ac.jp

■大学院経済学研究科政策科学専修『第6回政策科学シンポジウム』

「日本財政、破綻を免れるためには」※終了しました

10/29(土)、13時から731号教室。定員180人。

【基調講演】石弘光氏(政府税制調査会会長、中央大学特任教授、前一橋大学学長)

【パネルディスカッション】パネリスト＝石弘光氏／井堀利宏氏(東京大学大学院経済学研究科教授)／渡辺正太郎氏(経済同友会副代表幹事・専務理事)／松谷明彦氏(政策研究大学院大学教授)／コーディネーター＝原田博夫経済学研究科教授

申し込み・問い合わせ先

大学院事務課03-3265-6568 FAX03-3265-6375、E-mail graduate@acc.senshu-u.ac.jp

■公開シンポジウム

「シルクロード探見」※終了しました

11/6(日)、10時から303号教室。定員550人。

- ◆「トルファン灼熱の大画廊」堅達京子氏(NHK新シルクロード制作ディレクター)
- ◆「西域発掘戦争の群像—大谷探検隊の業績」金子民雄氏(中央アジア史研究者)

- ◆「タクラマカンの詩人たち」松原朗文学部教授
- ◆「モンゴルの草原にチンギス=カンの霊廟を掘る」白石典之氏(新潟大学人文学部助教授)
- ◆「シルクロード・トルファン・ヤールホト古墓群発掘」岡内三眞氏(大学院講師、早稲田大学文学部教授)
- ◆「西域の影を唐三彩陶にみる」亀井明德文学部教授

申し込み・問い合わせ先

エクステンションセンター事務課044-911-1268、E-mail i-kouza1@acc.senshu-u.ac.jp

生田キャンパス

■エクステンションセンター公開講座

「災害と疫病で紐解く相模・武蔵の歴史」※終了しました

10/8～11/12(11/5を除く毎週土曜日)。10時30分から114号教室。定員200人。

- ◆10/8「古墳時代の自然災害と復興」土生田純之文学部教授／「古代の富士山噴火と富士信仰」荒木敏夫文学部教授
- ◆10/15「鬼病襲来—東漸する大疫の波—」矢野建一文学部教授／「宝永4年富士の噴火と相模武蔵の村々」青木美智男文学部教授
- ◆10/22「関東大震災の記憶と東京大空襲—空襲被害に見る震災の影響—」田中禎昭文学部兼任講師／「戦禍と災害から読み解く戦国社会—人々餓死候事、限り無し—」館鼻誠文学部兼任講師
- ◆10/29「関東の寛永大飢饉と幕府政治」曾根勇二文学部兼任講師／「描かれた関東大震災の恐怖—天災と人災の両面から—」新井勝紘文学部教授
- ◆11/12「代官としての正義—新田次郎『怒る富士』をめぐって—」櫻沢一昭商学部兼任講師／「鎌倉大仏・大型板碑建立の謎を追う」飯森富夫商学部兼任講師

申し込み・問い合わせ先

エクステンションセンター事務課044-911-1268、E-mail i-kouza1@acc.senshu-u.ac.jp